

# 想像から創造された音楽

曲の中に隠れている動物たちを探せ

本校の育成する資質・能力

コミュニケーション力

主体性

- 1 日時 令和3年5月24日(月) 14:00~14:50
- 2 学年・学級 1年3組(男子12名 女子18名 計30名)
- 3 場所 音楽室
- 4 教材について

## (1) 題材観

中学校学習指導要領(平成29年告示)第3章第1節2内容B「鑑賞」に関する分野である。本題材では、次のような資質・能力を育成することと示されている。

- (1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
  - ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。
    - (ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠
    - (イ) 生活や社会における音楽の意味や役割
    - (ウ) 音楽表現の共通性や固有性
  - イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。
    - (ア) 曲想と音楽の構造との関わり
    - (イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり
    - (ウ) 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性

解説では(1)アの(ア)について、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにすることをねらいとし、イの(ア)については曲想と音楽の関わりを理解できるようにすることをねらいとしている。

本題材では、サン＝サーンスの「動物の謝肉祭」から「象」「かっこう」「水族館」を中心に取り上げる。これらの曲は作曲者がイメージした曲の雰囲気や表情、表したいなど、要素を知覚させることに適している。

また、小学校段階では第5学年及び第6学年の鑑賞で、知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くことで、それぞれの曲がもつ特徴を感じとってきている。中学校においては音楽の良さについて自分なりに考えを深め、評価しながら味わって聴く力を育成していく。本題材は第1学年の鑑賞の導入となるため、音楽を形作っている要素の変化や要素同士の関連を捉えて、聴き取ったことと感じ取ったことを結びつけやすい。また、その理由について自分の言葉でまとめたり、班で自由に話し合ったりしながら、新たな意見を見いだせたい。

## (2) 生徒観（調査結果等から見る課題）

質問内容	肯定的	否定的
あなたは音楽を聴くことが好きですか。	96%	4%
音楽の要素の変化を聴き取ることができますか。	42%	58%
音楽を聴いて感じ取ったことを自分の言葉で表せますか。	40%	60%

本学級の生徒たちは、96%が音楽を聴くことが好きであると答えており、真剣に曲を聴き、他の生徒と意見を積極的に交流する様子から、鑑賞の授業に意欲的に参加する姿勢が見られる。

しかし、大半の生徒が音楽の要素の変化を聴き取ることができておらず、何によって曲想が変化しているのかについては理解をしていない。音楽の要素の中でも「強弱」「速さ」「高さ」の違いは8割の生徒が聴き取れているが、「音色」「リズム」については3割の生徒が聴き取れていないことが分かった。

また思ったことや感じたことを自分の言葉でまとめたときに、この曲がどういう雰囲気をもった曲で、何を表現しているかという考えはもてていても、要素の変化を聴き取ることができず、音楽がもっている特徴と表現しているものが結びついていない者が多かった。またクラス全体で自分の考えを言葉で説明できない者が多く、どのように書けば自分の思いが相手に伝わるか悩んでいる。

要素の変化の聴き取り、曲想と結びつけて考えることと、聴き取ったことを自分の言葉で表現することに課題がある。

## (3) 指導観（指導改善のポイント）

中学校第1学年では鑑賞の指導においては、音楽を自分なりに評価しながら、そのよさや美しさを味わって聴く力を育てることが大切であり、生徒一人一人が音楽を自分なりに評価する活動と、評価した内容を他者に言葉で説明したり、他者と共に批評したりする活動を取り入れることによって、鑑賞の学習の充実を図ることができるようにする必要がある。

このクラスの実態をふまえ、次の3点を工夫して指導を行う。

- ① 聴き取った要素と曲想をつなげ、イメージしやすいように、導入時には映画「ジョーズ」のテーマを使って考える。そして、身近である動物をモチーフとした曲を選曲する。
- ② それぞれの要素がどのようなものか、変化することによりどのような影響があるかを聴き取れるようにするために、音楽を形づくっている要素についておさえておく。
- ③ 聴き取ったり感じ取ったりしたことを、音楽を形づくっている要素やその要因にふれながら、自分の言葉で説明することができるようにするために、「この曲の○○○な部分が△△△を表している」などどのように書けばよいのか具体的な事例を提示しておく。また、どのように表現しているのか迷う生徒のために、「流れるような」や「重い」などの単語を選べるように準備しておく。

## 単元の目標

知識・技能	表現力	主体性・協働性
音楽を形づくっている要素にはどのようなものがあるか、それらの変化に曲想にどのような変化があるかを理解している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	音楽活動を楽しみながら要素によってどのように曲想に違いがあるのかに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

## 単元の評価基準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本校が定めた 資質・能力	コミュニケーション力		主体性
評価基準	<b>知</b> 曲想と音楽を形づくる要素の関わりについて理解している。	<b>思</b> 「音色」「高さ」「速さ」を知覚し、それらが生み出す雰囲気を感じながら、それらの関わりについて考えながら音楽の良さや美しさを味わって聴いている。  <b>表</b> 聴き取ったこと、感じ取ったことを自分の言葉で説明し、他者と批評することで音楽の良さを味わって聴いている。	<b>主</b> 音楽を形づくる要素と曲想や曲の雰囲気との関係に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

## 指導と評価の計画

次	学習内容	評 価	
		観点	評価規準（評価方法）
1	○映画音楽「ジョーズ」を用いて音楽を形づくっている要素が、曲にどのような変化をもたらすかを理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px 0;">課題の設定</div> ○それぞれの音楽の特徴と要素の違いを聴き取り、感じたことをまとめる。	<b>知</b>	・曲想と音楽を形づくる要素の関わりについて理解している。 （ワークシート）
		<b>思</b>	・「音色」「高さ」「速さ」を知覚し、それらが生み出す雰囲気を感じながら、それらの関わりについて考えながら音楽の良さや美しさを味わって聴いている。 （ワークシート）
2	○「かっこう」と「象」を聴いて、その曲のもつ特徴を聴き取り、曲が表している動物が何か、根拠をもって説明することができる。 ○「水族館」を聴いて、この曲がどうして水族館なのか、音楽の要素から理由を書く。	<b>表</b>  <b>主</b>	・聴き取ったこと、感じ取ったことを自分の言葉で説明し、他者と批評することで音楽の良さを味わうことができる。 ・音楽を形づくる要素と曲想や曲の雰囲気との関係に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとし

	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 10px;">整理・分析</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 10px;">まとめ・創造・表現</div> </div> <p>○音楽は要素によって形づくられており、雰囲気や曲想を変えることができることを理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 10px; margin: 5px auto; width: 80px;">振り返り</div>	<p>ている。(ワークシート)</p>
--	---	---------------------

## 本時の学習

(1) 本時の目標 音楽を形づくっている要素を知覚し、曲想と結び付けることができる。

(2) 観点別評価規準

C	B	A
曲の良さや美しさを説明している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それぞれの曲の良さや美しさを説明している。	それぞれの曲の良さや美しさを感じ取り、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらがどのように曲想と関わっているかを説明している。

(3) 準備物 ワークシート, CD

(4) 学習の展開

	学習活動	◇指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて	評価規準 (評価方法)
導入 【発見】 3分	① 前回の復習 ・音楽を形づくっている要素についてワークシートで確認する。  ② めあての提示  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <b>本時のめあて</b>  <b>音楽の要素を聞き取り、曲が表現していることを感じ取ろう。</b> </div>		
展開① 【思考】 25分	③ 2曲(かっこう・象)聴いてどんな曲であったか、要素を2つ以上用いて書く。  ④ もう一度聴いて③で考えたこととつなげて何の動物をモチーフとしているかを考える。  ⑤ 班で交流し、他の意見を聞く。	◇この曲から受けた印象・感じたことを書き、題名である動物は何かを考える。  ◇音楽の要素と曲の中にある動物の特徴を結び付けて考えることを確認する。 ◆例文やワードを出して、表現の手助けをする。	<b>表</b> 聞き取ったこと、感じ取ったことを自分の言葉で説明し、他者と批評することで音楽の良さを味わうことができる。

	⑥ 答えを出す。		
展開② 【深化】 15分	⑦ 曲の題名をあらかじめ言っておいて、曲のどの部分がそれを表しているかを考える。(2回聴く・水族館) ⑧ 班で交流し、他の意見を聞く。 ⑨ 何人か抜粋して発表する。	◇聴き取ったことやそうだと思う理由を、自分の言葉で相手に説明させる。  ◆ワークシートを iPad で撮り、テレビに映し出して視覚化する。	表 聴き取ったこと、感じ取ったことを自分の言葉で説明し、他者と批評することで音楽の良さを味わうことができる。
終末 【まとめ・振り返り】	⑩ まとめ・振り返り  ○生徒の振り返り例 音楽を形つくっている要素を聴き取って、曲が何の動物を表現しているのかを考えた。遅くて重い曲なら大きくて重たい動物がのっそりと動いている感じに聴こえたし、楽器の組み合わせで不思議な空間を表していた。曲の雰囲気は音楽の要素が大きく関わっていることが分かった。	◇音楽の要素によって雰囲気が作られ、変化していることを確認する。	主 音楽を形づくる要素と曲想や曲の雰囲気との関係に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。